南アルプスと
歌舞伎の里

私たちの村　平成25年３月１日現在　※（ ）内は前月比
人口　1,147人(－1)／男　567人(－1)／女　580人(±0)／世帯数　530戸(－1)

〒399-3502 長野県下伊那郡大鹿村大字大河原354　大鹿村役場
ホームページアドレス　http://www.vill.ooshika.nagano.jp
電子メールアドレス　info@vill.ooshika.lg.jp(変更になります)

第９代大鹿さくらの女王誕生!!

新しい２名のさくらの女王が誕生しました。第８代さくらの女王、２期目スタートの柳島村長、大鹿さくらの会々長に囲まれて―

2013
3
No.220
広報おおしか
◇平成25年３月発行／大鹿村役場　◇印刷／龍共印刷株式会社

the most beautiful villages in japan

柳島村政二期目のスタート

私は、一月十五日告示の大鹿村長選挙にあたり、一期四年間の経験を活かして微力ではありますが、引き続き村政に携わっていく決心をして、立候補いたしました。

投票がなく再び村政を担当させていただくことになりましたので、全力をもってその任にあたってまいる所存であります。皆様方の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

投票がありませんでしたので、選挙公報など発行されませんでした。ここでそれを申し上げさせていただきます。

日本で最も美しい村づくり

●「失われたら二度と取り戻せない日本の原風景を守る」活動を多くの住民の皆様の協力を得ながら推進し、多くの人々に訪れてもらう様取り組む。

●美しい村の伝統、大鹿歌舞伎の伝承にはさらに力を注ぎ、歌舞伎やその他の文化を集約した伝承施設の整備を目指す。

●「日本で最も美しい村連合」の活動を推進し、大鹿の良さを全国に発信する。

豊かで活力ある村づくり

●獣害対策の強化による、米、花卉、果実など既存の生産物の振興

●地域おこし協力隊の活用や新規就農支援による遊休農地の活用、生産意欲の向上を促す支援制度に取り組む。

●大鹿産カラマツの活用の研究、またカラマツによるモデル住宅の建設

●ソーラー発電、ミニ水力、木質エネルギー活用などに取り組み地域の活性化を図る。

安全・安心・快適な暮らしをつくる

●医療確保のため、村立診療所の維持

●要介護者の増加と広域的な介護施設の動向を見る中で、村内での介護サービス施設の充実整備を図る。

●治山・治水事業の継続と国、県道の改良、特に通年二方向の通行を要望

●I・Jターン者の対策として空き家の活用対策を進める。

●総合型スポーツクラブの設立によるスポーツ活動と健康づくりに取り組む。

●北部総合事務組合、南信州広域連合との協調（ゴミ処理、火葬場、介護施設）

●村内道路の改良・舗装に取り組み通行の安全を図る。

リニア対策

●事業実施に至る場合は、景観や環境への影響を最小限にすることを最大の課題として取り組み、村にとってメリットのあるように交渉を行う。

コミュニケーション

●一期目最大の反省点、自治会や各種団体との話し合いをしっかり持つ。

私は、大鹿村は豊かな自然や文化をもっている、そして、その中で暮らしている人々は、心豊かな生活に自信を持っていると思っています。そのような村民生活への取り組みを支援し、さらに村を訪れてくれる人々にその豊かさを発信し、共感を得、活気ある村づくりを目指していきます。

改めて今後ともよろしくお願いいたします。

第９代 大鹿さくらの女王決定

第９代大鹿さくらの女王選考会が、２月17日大鹿村交流センターに於いて、公開審査により行われました。

この選考会には、近隣市町村から５名の方の応募があり、柳島村長、さくらの会々長をはじめとする９名の審査員による厳正なる審査の結果、塩澤未緒さん（27）・飯田市長野原と久保田莉奈さん（21）・飯田市松尾のお二人が、第９代の女王に決定しました。

任期は２年間で、各種イベントへの参加により村や南信州地域のＰＲ活動にご活躍いただきます。特に村内の行事では、参加される皆さんと共にイベントを盛り立ててくださることと期待します。

４月20日に行われる「大鹿さくら祭り」において、お二人の村内での初お披露目を行います。フレッシュな新女王を、よろしくお願いします。

久保田莉奈さん（左）と塩澤未緒さん（右）

塩澤未緒さん（27歳）

大鹿村が都会の方たちに“ふるさと”をイメージして、訪れてみたくなるような、村の美しい自然であったり、文化、温かい人柄を皆さんにＰＲできるように頑張りたいと思います。

よろしくお願いします。

久保田莉奈さん（21歳）

これから大鹿村の行事にたくさん参加して、私が肌身で感じたことを、たくさんの方に発信し伝えていけたらと思います。

よろしくお願いします。

住民意見交換会が開催されました

4．今後予想される日程

本年秋頃：準備書の公表
　ルート・駅・トンネル坑口などの位置、工事等による環境影響対策が示される。
本年末頃：準備書に対する地元説明会の開催、パブリックコメントの募集
工事認可：平成26年度中に評価書を作成し国土交通省に提出
工事着手：平成27年度頃から工事計画を大鹿村へ協議・策定、用地交渉、工事準備
トンネル工事着工：平成28年度頃～残土処理が開始される見込み
リニア開業：14年後　平成39年度(2027年)

	村　の　方　針
しているが、山間地の多くの民家は村営水道以外に自家用水源を有のが多く、方法書では把握されていない。 リング調査を行い、環境影響調査を実施すること。特に南アルプスも適正な調査･検討を行い、水環境への影響を回避すること。また、 るように計画します。また、トンネル掘削にあたって、事前に地ます。 井戸水位観測、水質調査等の水文調査を行うなど、継続的に監視し、急対策を実施します。 対策を実施します。	村では、リニア想定ルートの３㎞幅内にある村営水道水源や個人水源、湧水などの位置について、関係者からの聞き取りにより位置図を作成し、ＪＲ東海に提供しました。 ＪＲ東海では地下水・水資源の位置を概ね承知していますが、ルート選定後に影響のある箇所について左記のとおり調査を行う方針です。 村では準備書の公表を受け、記載された影響対策を検討し、ＪＲ東海に適切な対応を求めていきます。 また、その他の環境影響対策についても同様に適切な対応を求めていきます。
加え、地形的に大変厳しく、地質も脆弱な地域であることから、坑トンネルで通過するよう改めて要望する。 こと。また、坑口の防災対策と自然環境への影響の低減方法を具体 にあたっては、地すべり誘発や落石の危険など周辺地域の防災対策	ＪＲ東海の方法書では小渋川を明かり(橋梁)で通過する方針です。 村では準備書の公表を受け、記載された影響対策を検討し、ＪＲ東海に適切な対応を求めていきます。
2,027年と長期となるため、残土処理による自然環境や生活環境へ 予測できる段階で、概略の残土処理計画を地元自治体に示し、自 新たに処分地が生じる場合には、周辺環境への影響をできる限り 整させていただきたいと考えています。 い時期にご提示できるよう努めます。	本村は地形的な制約により、残土運搬や工事で利用できる迂回路がない特殊な道路事情であるため、準備書作成前に住民生活への影響を最大限緩和する対策を策定できるよう、ＪＲ東海と長野県、関係町村により協議を行っていきます。

リニア中央新幹線事業に対する

○リニア事業に関する経過と日程

1．平成23年８月　環境影響配慮書（長野県分）リニアルート想定区域の村内3km幅が示されました。

①小渋川は明かりで、できるだけ短い距離で通過する。

②中央構造線は、できるだけ短い距離で通過する。

2．平成23年10月　大鹿村で環境影響評価方法書説明会が開催されました。

ＪＲ東海の主な説明内容

①具体的なルート・工事箇所などは、平成25年秋頃公表の準備書で示す。

②工事期間は、平成26年（2014年）～平成39年（2027年）の予定

③工事用道路はできるだけ既存の道路を利用し、新しく設置する場合は自治体と協議していく。

3．平成23年12月～平成25年夏頃まで　環境影響調査が3km幅の区域で実施されています。

○リニア計画に対する村の意見

	環境影響方法書に対する村の意見とＪＲ東海の見解
地下水・水資源村の意見	地下水・水環境調査においては、文献、資料の収集・整理により現地調査項目を設定することとしており、農業用水などの水資源や温泉の源泉位置等についても文献・資料に記載されていないも このため、現地調査項目の設定にあたっては事前に地元自治体や住民、地元専門家などからヒア から中央構造線にかけては複数の断層により複雑に地層が入り組んでいるため、地形・地質面から 温泉については工事前と工事後複数年の影響調査を公開で実施すること。
ＪＲ東海ホームページから抜粋	●ルート選定にあたっては、地形・地質調査や水の利用状況を踏まえ、影響ができる限り小さくな 質・水文調査を行い、適切な施工計画とするとともに、取水の方法や使用状況等を十分に把握し ●工事着手前には、地元（水利用者）の皆様にご説明をします。また、トンネル工事中も河川流量、 減水等の兆候が認められた地区では、地元の皆様の生活に支障をきたさないことを第一とし、応 ●トンネル工事完了後も流量観測等を継続し、必要に応じて、地元の皆様とお話しをしながら恒久
ルート計画村の意見	小渋川を明かりで通過することについては、南アルプス山麓の貴重な自然環境の中にあることに 口周辺の防災対策の大規模化、施設の存在による周辺景観や環境への影響が大きいため、小渋川は なお、明かりで通過する必要がある場合には、その理由を準備書において分かりやすく説明する 的に示すこと。
ＪＲ東海方法書から抜粋	●鉄道事業に関する安全の確保については万全を期していきます。小渋川付近における坑口の設置 に大きな影響を及ぼすことのないように計画を具体化します。
残土対策村の意見	本計画はほとんどがトンネル工事のため膨大な量の掘削土砂が発生し、工事期間も2,014年から の影響について早期の情報開示を求める意見が多い。 建設主体としてこの意見を真摯に受け止め、環境影響調査により建設発生土等の処理方法を概ね 然及び生活環境への影響回避又は低減に向けて地域と連携して取り組むこと。
ＪＲ東海ホームページから抜粋	●建設発生土については本事業内での再利用や他の公共事業等への有効利用を考えています。また、 回避・低減するよう努めます。 ●発生土を公共事業等で有効に活用して頂くための情報提供や発生土処分場は、県を窓口として調 ●大まかな地域ごとの概算の発生土量は、関係自治体の方々にご協力を頂くために、できる限り早

<table>
<tr><th colspan="3">村　の　対　応</th></tr>
<tr><td>説明会の要望</td><td colspan="2">工事計画や工事用道路対策・残土運搬対策・残土処理場対策など早急に村と協議し、準備書作成前に関係自治会に説明するよう、ＪＲ東海に要望しました。
しかし、ＪＲ東海では大鹿村以外でも準備書公表前の個別説明会は行わないとの回答であるため、村が意見交換会などを開催して村民の意見を把握し、ＪＲ東海に要望していきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">道路改良要望</td><td>１．国道152号線</td><td>青木川沿いの対策として、下青木薬師堂～上青木地区までの間、待避所設置・拡幅改良を早急に実施するよう、ＪＲ東海と長野県に要望しています。</td></tr>
<tr><td>２．県道赤石岳公園線</td><td>小渋川沿いの対策として、残土運搬車両が県道を通行しないよう、搬出道路の新設やトンネルからの搬出など適切な方法を検討するようＪＲ東海に要望しています。また、工事用車両が通行するための待避所設置・拡幅改良を早急に実施するよう、ＪＲ東海と長野県に要望しています。</td></tr>
<tr><td>３．主要地方道
松川インター大鹿線</td><td>残土運搬対策として、滝沢トンネル～渡場の間は、二車線で安全に通行できるよう、トンネル設置と拡幅改良を早急に実施するよう、ＪＲ東海と長野県に要望しています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">◎いずれの路線も、トンネル工事着工前に安全に通行できる対策の実施を強く要望しています。</td></tr>
<tr><td colspan="3">※リニア作業坑を利用した道路整備について
「リニア本坑に並行する作業坑ができる場合、釜沢から青木川、青木川から豊丘村に通行できる車道として利用できないか」という疑問には、以下のように考えています。
●作業坑はリニアの非常時の避難通路や管理通路として利用されるものであり、ＪＲ東海は道路用の作業坑を設置しないとの回答です。もし仮に作業坑を利用できたとしても、車道の構造ではないため、道路管理者となる長野県が排気対策や照明の設置、新たな避難トンネルの掘削などを行う必要があり、実現の可能性は大変低いと思います。
このため、村としては既設道路の改良による安全な通行を確保し、工事や残土処理の影響を最大限緩和するよう、ＪＲ東海と長野県に強く要望していきます。</td></tr>
<tr><td>残土処理場検討</td><td colspan="2">県の残土処理計画や処理場としての基準などの策定に合わせ、村内の残土受け入れ候補地を把握する予定です。
残土処理後の整備には個人負担が必要ですが、村内で個人の農地など残土処理場として利用可能な場所や希望がある場合は、事前に連絡をお願いします。</td></tr>
</table>

美しい村づくり、南アルプス世界自然遺産登録等への影響

○日本で最も美しい村を掲げる村として、環境が破壊されていくことは大変悲しいことです。村民がこの村で生活したくないと思わないよう、対応をお願いします。また、南アルプス世界自然遺産登録やジオパーク推進にもマイナスは大きいと思いますが、村はどう対応しますか。

▶美しい村として工事現場になることは非常に悲しいことだと思っています。残土運搬や環境、景観対策など、細かい点までしっかり協議し、美しい村を守るために言うべきことはきちんと要望していきます。世界自然遺産登録やジオパーク、エコパークへの取り組みは引き続き行っていきます。

リニア計画について

○リニア事業の問題を把握した上で、村の将来をどうするかを判断する必要があるのではないでしょうか。ＪＲや県だけの話ではなく、違う視線でリニアについて実態を知るための講演会を開催してください。

▶リニアの問題は、大鹿村だけの問題ではないことを理解いただきたいと思います。村としてどうすれば影響を少なくできるか考えていきます。講演会については、いろいろな話が聞けるよう内容を検討します。

○大鹿村には駅はできないし、南アルプスにはトンネルが開き、工事現場になるだけですが、村にとって良いことはあるのですか。水力発電所は交付金が交付されますが、リニアの場合はどうなるのですか。

▶大鹿村の弱みは松川インター大鹿線の道路状況が悪いことだと考えています。この道路の改良が進めば村の利益になり、合わせて村内の道路改良が進めば、人の動きもよくなり経済も動くと考えています。そんな点で村の利益につなげていきたいと考えています。また、リニアが完成した後には、固定資産税として村の収入になるはずです。

○約10年間大鹿村が工事現場となり、住環境に害をこうむることを村民は懸念しています。斜坑を掘って工事現場とするのではなく、山梨県側及び豊丘村側から土砂を搬出することで、松川インター大鹿線など道路改良のコストが抑えられると考えます。ＪＲ東海に工法変更を提案してください。

▶村も工事現場にならないことが一番いいと考えています。ＪＲ東海も、リニアの安全対策や工事の早期完成などを採算面から考えていると思いますが、斜坑設置の方向で準備書を提示することが予想されます。ＪＲ東海に工法変更のご意見を提案していきます。

今回、村として初めてリニアに関する意見交換会を開催し、今後もこのような機会を設けて欲しいなど、様々なご意見をいただきました。リニア中央新幹線計画は確実に進められていきます。公表できる情報は村民の皆様にお伝えしながら、いただいたご意見をＪＲ東海や県に要望していきます。また、直接関係する地域の問題は、自治会など地域の皆様と協議をしながら進めていきたいと考えています。

○リニア工事の課題

リニア工事で予想される課題	
工事計画	リニアは村内（約12.5km）をトンネルで横断する計画のため、工事現場となる坑口（斜坑）は小渋川沿いと青木川沿いに設けられることが予想されます。 また、工事期間は平成27年頃から約10年間に及び、工事現場周辺の住民生活や環境への影響をはじめ、村全体に及ぼす影響が大きいことが予想されます。 このため、ＪＲ東海が工事場所や工事の進め方などを決めて準備書で公表する前に、村や住民と協議し、影響を最小限にする工事計画を策定する必要があります。
工事用道路対策	村内工事用道路として国道152号及び県道赤石岳公園線が予想されます。どちらも幅員が狭い上、集落内を通過しているため、現状では工事車両の通行は困難です。 特に赤石岳公園線の上蔵集落内や釜沢までの狭い道路区間は、残土運搬車両が通行する事になれば、騒音や振動・通行不能・危険増大により、住民生活や観光産業が重大な影響を受けるため、搬出道路の新設など何らかの方法により、残土運搬車両が通行しない対策を取る必要があります。 また、国道152号青木地区は未改良で幅員が狭いため、すれ違いができる道路改良が必要です。
残土運搬対策	村内の工事のほとんどがトンネル工事のため、約200万～300万㎥の大量の残土が排出されることが予想されます。村内でも残土処理場を確保する必要がありますが、地形的に急峻で沢が多く、地質的にも地すべりなどの危険が大きいため、これだけの量の残土を埋め立てできる場所はありません。ほとんどを村外に持ち出さなければ処理できない状況です。 現在の予想では、平成28年頃からトンネル掘削が始まると約10年間にわたり、1日片道数百台の残土運搬車両が村内及び松川インター大鹿線(小渋線)を通行し、村外に残土を搬出することになり、資材搬入や砂利運搬車両の増加も見込まれます。 このため、残土運搬車両が集中する松川インター大鹿線の未改良区間では、すれ違いによる待合の連続や交通渋滞・通行の危険増大により、村民をはじめ観光客など通行する全ての人に支障をきたし、住民生活や観光産業など地域全体が重大な影響を受けるため、トンネル工事着工前に安全に通行できる道路改良を行う必要があります。
残土処理場対応	ＪＲ東海は残土を公共事業で有効に活用するため、情報提供や処分場については県を窓口として調整することとしており、従来の新幹線工事を参考にすると残土搬入後の整備は地元対応となる見込みです。 村外への残土搬出量の削減と地元での有効利用のため、個人の農地など残土処理場として利用可能な場所を検討する必要があります。

意見交換会で出された主な意見の概要

水資源・環境への影響

○水資源や温泉への影響は、工事後１～２年では現れない場合があり、５年・10年後の影響は工事との因果関係を所有者が証明することはできません。工事後の調査継続や全村水源調査を要望し、村民に不利益とならないようしてください。また、景観への影響や大気質の汚染などが心配です。

▶水資源についてＪＲ東海のホームページでは「終了後も流量観測等を継続する」としています。準備書の内容を確認の上、事後調査や全村水源調査を要望していきます。また、自然景観の保護は美しい村条例に基づき景観審議会で確認していきます。その他の環境調査項目についても準備書により確認していきます。

○工事により想定外の影響が発生したとき、行政としてチェックする機能を備えてほしい。また、村と利用者、ＪＲの三者できちんと影響を確認する体制を作ってほしい。

▶村には専門的な知識が少ないので、関係市町村や県と連携しチェック方法を協議し、利用者の皆さん自ら調査いただくなど、チェック体制をつくっていきたいと考えています。また、村と利用者、ＪＲ東海の三者で確認できるよう要望していきます。

道路問題

○小渋線に片道数百台が通行する場合、どのくらい渋滞を起こすのか数字で示すなど強く要望してほしい。小渋線は私たちの生活道路です。２車線への改良はどのように考えていますか。

▶一日の残土搬出量や通行台数は示されていませんが、観光客の集中や小渋砂利の搬出増加、ダムの土砂搬出などの通行台数増加量を提示し、松川インター大鹿線を２車線に改良しないと通行できないことを訴えています。準備書公表までに、改良の計画について関係者と協議していきたいと考えています。

○既存の道路を利用して釜沢から土砂を搬出するには、大変な道路改良が必要になると思います。先に青木から釜沢にトンネルを掘り、それを利用して土砂を搬出すれば道路改良も不要となり、環境にもよいのではないでしょうか。道路や施設の新設の設置により、大西山から見る旧小渋橋と赤石岳の風景に傷をつけないでほしい。

▶県道赤石岳公園線を通行して土砂を搬出することは困難だと訴え続けています。搬出道路の新設やトンネルなど、適切な方法を検討するようＪＲ東海に要望しています。

耐震診断(無料)であなたの家の安全性を確かめてみましょう

近年、全国で頻発する地震。大鹿村は東海地震の地震防災対策強化地域に指定されています。
地震による家屋の倒壊から身を守るために“すまいの耐震性”を確認しましょう！
～　大鹿村では木造住宅の耐震診断・耐震改修を支援・促進します。～

大鹿村では、平成25年度において専門の耐震診断士による木造住宅の耐震強度の診断を実施します。

耐震診断から耐震改修(補強)工事までの流れ

1．耐震診断申込み

対象住宅は、大鹿村にある昭和56年５月31日以前に着工された木造住宅
耐震診断を希望される方は役場住民税務課管理係にて申込みをお願いします。

① 簡易耐震診断（無料）･･･とりあえず自宅の耐震性が心配な方
　専門の診断士の外観等目視による簡易診断
② 精密耐震診断（無料）･･･耐震改修工事を前提に概算工事費等詳細を知りたい方
　専門の診断士が木造住宅耐震診断マニュアルに基づき精密診断

2．耐震診断

診断を希望された方のお宅に、村より木造住宅耐震診断士を派遣し診断を行います。
また、診断結果については、結果評点に表し、後日、診断士が説明に伺います。

結　果　評　点	判　　定
1.5以上	安全と思われます。
1.0以上1.5未満	一応安全と思われます。
0.7以上1.0未満	やや倒壊又は破壊の危険があります。
0.7未満	倒壊又は大破壊の危険があります。

① 簡易耐震診断（無料）を希望された方
　診断の結果、1.0未満（倒壊の危険がある）となった場合は ② および ③ をご検討ください。
② 精密耐震診断（無料）を希望された方
　診断の結果、1.0未満（倒壊の危険がある）となった場合は ③ をご検討ください。

3．耐震改修(補強)工事

③ 耐震改修(補強)工事（補助金額60万円を上限に工事費の２分の１を補助）
　精密耐震診断の結果、結果評点が1.0未満と診断された木造住宅に対し、0.7以上かつ工事前の評点を上回る工事を行います。

『大鹿村木造住宅耐震改修事業補助金』をご活用ください。

【耐震診断・改修に関するお問合せ先】　役場住民税務課　管理係　☎39－2001

国民年金便り

平成25年3月号

「ねんきん定期便」の節目年齢が変わります

日本年金機構では、毎年、国民１人ひとりに、年金加入記録を確認するとともに、年金制度に対する理解を深めることを目的として「ねんきん定期便」を送付しています。

ねんきん定期便の概要（ハガキ）

50歳未満の人	50歳以上の人
これまでの年金加入期間	同　左
これまでの加入実績に応じた年金額	老齢年金の見込額
これまでの保険料納付額	同　左
最近の月別状況	同　左
※50歳以上の人で、すでに年金を受給している方には老齢年金の見込額は知らされません。	

「ねんきん定期便」は、通常はハガキで送付されています。しかし、35歳、45歳および58歳の年齢は、年金の受給に必要となる加入期間を確保するための節目となる年齢であったり、年金の請求を間近に控えている年齢であるために、節目年齢と位置づけられ、これらの年齢の人には封書で「ねんきん定期便」が送付され、次のような内容が記載されています。

節目年齢のねんきん定期便の概要（封書）

35歳・45歳の人	58歳の人
これまでの年金加入期間	同　左
これまでの加入実績に応じた年金額	老齢年金の見込額
これまでの保険料納付額	同　左
これまでの加入履歴	同　左
厚生年金の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況	同　左
これまでの年金保険料の納付状況	同　左
※封書の「ねんきん定期便」には、年金加入記録の確認方法等を詳しく記載したパンフレットや、加入記録に「もれ」や「誤り」があった場合に提出するための「年金加入記録回答票」が同封されています。	

年金記録の整備に要する期間が短縮してきたことなどから、平成25年度以後は、この節目年齢のうち58歳が59歳に変更されます。

平成25年度中に58歳または59歳になる人

●昭和29年４月２日～昭和30年４月１日生まれの人

平成25年度中に59歳になる人は、平成25年中の誕生月には、封書ではなくハガキの「ねんきん定期便」が送付されます。

●昭和30年４月２日～昭和31年４月１日生まれの人

平成25年度中に58歳になる人は、平成25年中の誕生月はハガキの「ねんきん定期便」が、平成26年度中の誕生月には封書の「ねんきん定期便」が送付されます。

70歳～74歳の大鹿村国民健康保険にご加入の皆様へ

担当：仲田裕樹

70歳から74歳の方の病院などでの医療費自己負担割合は、前年所得に応じ、１割と３割に区分されます。平成25年４月から、１割負担が２割負担へ変更となる予定でしたが、平成26年３月末まで１割負担が据え置かれることになりました。

それに伴い、70～74歳の方が使用している高齢受給者証（緑色）が４月１日に更新されます。３月下旬に郵送いたしますので、手元に届きましたら各自で住所・氏名などの記載内容を確認して使用してください。

但し、３割負担の方は、更新されませんので、現在お使いになっている高齢受給者証（緑色）を引き続きご使用下さい。

なお、古い高齢受給者証は、ご自身で裁断していただくか役場保健福祉課まで返却願います。

８月以降にお使いいただく高齢受給者証は、７月下旬にあらためて送付いたします。

	平成25年３月末まで
現役並み所得者	**3割**
一般所得者	**1割**（※）

→

	平成26年３月末まで
現役並み所得者	**3割**
一般所得者	**1割**

※平成25年４月から１割負担が２割負担に変更される予定でしたが、平成26年３月31日まで引き続き負担割合が据え置かれることになりました。

福祉だより

基本チェックリストの提出をお願いします

担当：森上安弘

大鹿村では、介護予防事業を進めるために毎年３月に65歳以上の方を対象とした「基本チェックリスト」を実施しています。年を重ねるごとに体調は変化していきます。村民の皆さんが自分の体の状況を振り返ってみる良い機会となりますので３月下旬までに提出をお願いいたします。

1．**目　的**……高齢期に介護の予防を図るためには現在の心身の機能をできるだけ低下させるように生活することが重要になります。そのためには、基本的な生活機能をチェックリストにより確認して、生活機能の低下が心配な方には係から介護予防事業への参加をお勧めします。

2．**対象者**……村内にお住いの65歳以上の方（但し、すでに要支援、要介護の認定を受けておられる方は除きます。）

3．**方　法**……自治会の保健補導員に配布していただきます。すべての記入が終わりましたら、再度保健補導員さんへお渡しください。なお、役場保健福祉課へ直接提出いただいても結構です。内容的には、どちらかに○をする形ですので各質問項目に最近の状況をご記入ください。

【お問い合せ先】　役場 保健福祉課　☎39－2001

⑵**医療機関側**

○平成26年度に医師・看護職等医療職を求人する予定の病院及び診療所

（参加医療機関等：飯田市立病院、飯田病院、輝山会記念病院、健和会病院、椎名レディースクリニック、下伊那厚生病院、下伊那赤十字病院、瀬口脳神経外科病院、長野県立阿南病院、飯田医師会、飯田下伊那歯科医師会、飯田下伊那薬剤師会）

（求人職種：医師・薬剤師・保健師・助産師・看護師・准看護師・放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・社会福祉士・介護福祉士・介護職・事務職）

内　容

○医療機関ごとのブースでのガイダンス

病院、診療所の職員から詳しい情報を得ることができます。

○研修医と看護師による相談ブース

研修医や現職看護師から体験に基づく情報を得ることができます。

医療職を目指す高校生や中学生が進路情報を得ることができます。

○健康チェックコーナー

○体験コーナー　BLS（一次救命処置）体験。

その他

事前予約は必要ありません。また、参加費は無料です。

こんにちは保健師です

担当：小村信濃

年に一度健診を受けましょう

日本人の生活習慣の変化等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、それを原因とする死亡は、全体の約３分の１にものぼると言われています。

生活習慣病予防のために健診・保健指導を積極的に利用し、バランスの取れた食生活と適度な運動習慣を身に付けましょう。

特定健診とは？

特定健康診査は、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診で、以下の項目を実施します。

基本的な項目

○質問票（服薬歴、喫煙歴等） ○身体計測（身長、体重、ＢＭＩ、腹囲） ○血圧測定
○理学的検査（身体診察） ○検尿（尿糖、尿蛋白）
○血液検査
- 脂質検査（中性脂肪、ＨＤＬコレステロール、ＬＤＬコレステロール）
- 血糖検査（空腹時血糖またはHbA1c）
- 肝機能検査（ＧＯＴ，ＧＰＴ，γ―ＧＴＰ）

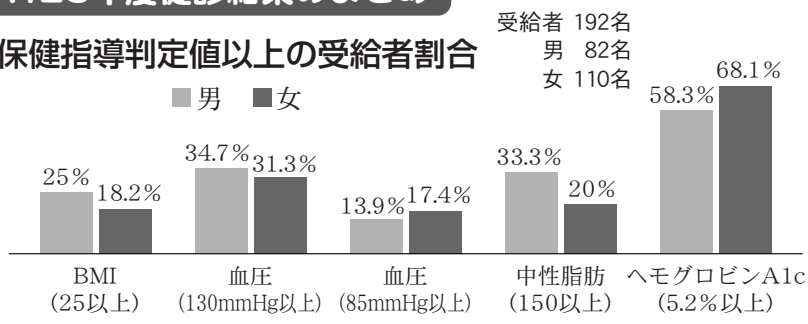
詳細な健診の項目 ※一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施
○心電図 ○眼底検査 ○貧血検査（赤血球、血色素量、ヘマトクリット値）

特定保健指導とは？

特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、生活習慣を見直すサポートをします。

H23年度健診結果のまとめ

保健指導判定値以上の受給者割合



- H23年度の大鹿村の特定健診の受診率は60.4%と県の受診率よりも高値でした。
- 女性のヘモグロビンＡ１ｃ値は県の平均の66.9%（H22年度）よりも高値でした。
- ヘモグロビンＡ１ｃの値が男女ともに高い傾向にあります。（ヘモグロビンＡ１ｃは、血液検査において、糖尿病診断に欠かすことのできない項目です。約１～２ヶ月前の血糖の状態を推定できます。）

飯伊地区 医療職 合同就職ガイダンスのご案内

◎ 医療関係団体による学生と中高生のための就職総合相談会 ◎

平成26年度に医師や看護職等の就職を希望する皆様のため、飯伊地区の医療機関の人事担当者を一同に会した合同ガイダンスを開催します。

また、研修医や現職看護師から就職するまでの体験をお聞きできるコーナーも設けます。

【お問い合せ先】 飯伊地区包括医療協議会 〒395−0025 飯田市東中央通5−96(☎0265−23−3636)

期 日 平成25年4月27日（土） 午後2時～午後4時
会 場 飯田女子短期大学 看護棟
（飯田市松尾代田610 TEL0265－22－4460）

参加対象者

(1)求職者側
飯伊地区で医療機関への就職に関心をお持ちの次の方々
○医師や看護職等医療職を希望する学生及びその保護者等
○医療機関への就職に関心のある中高生及びその保護者等
○医療機関への復職希望者
○大学、高校及び中学の進路指導担当者

長野県医療功労賞　清貞和紀先生　受賞おめでとうございます

地域医療の向上に尽力した方を表彰する「第四十一回医療功労賞」の長野県医療功労賞に大鹿村立診療所の清貞和紀先生が受賞されました。

大鹿村へ赴任して二十年、大鹿村民の生命を二十四時間体制で見守り続け、へき地での医療にご尽力されました。

また、緊急時には、いち早く病院搬送できるよう診療所

近くへのヘリポート設置を提言し、大鹿村での緊急搬送体制を確立されました。また健康診断を推進し、病気の早期発見や、健康づくり活動をすすめるなど、地域医療へ貢献されました。

永年自治功労　旭日單光章　中島哲郎さん　受章おめでとうございます

下青木(現在・生活支援ハウス入居)の中島哲郎さん(八十八歳)は、地方自治功労により平成二十四年十二月一日に旭日單光章を受章されました。

中島さんは昭和五十年に、大鹿村議会議員として当選以来六十一年までの間、三期十二年にわたり村議会議員を務められ、その間、建設常任委員会委員長、産業常任委員会委員長、議長を歴任、厳しい社会情勢の中、持ち前の知性と指導力を充分発揮し村政の振興発展のため多大な貢献をされました。

狂犬病予防注射と犬の新規登録について

平成25年度の狂犬病予防注射(集合接種)を行います。日程を確認の上、必ず受けてください。

●狂犬病予防注射……注射料　3,220円(釣り銭のいらないようご協力下さい)
登録済みの犬の飼い主の方へ郵送したハガキをご持参ください。
(ハガキがないと、注射をするまでに時間がかかります)

●犬の新規登録(対象：生後91日を経過した犬)
……**登録料　3,000円　　注射料　3,220円　　計6,220円**(釣り銭のいらないようご協力下さい)

●犬の登録と狂犬病予防注射日程

(第一次)

月・日	場所	時間
4月12日(金)	大積神社	9：00～9：20
	下青木公会堂	9：25～9：40
	上青木消防詰所	9：45～10：10
	福徳時	10：20～10：40
	釜沢集会所	10：50～10：55
	沢戸集会所	11：05～11：20
	交流センター	11：30～11：50
	公民館鹿塩地区館	13：05～13：30
	北入一公会堂	13：35～13：45
	葦原神社	14：00～14：10
	沢井集会所	14：20～14：30
	役場庭	14：40～15：00

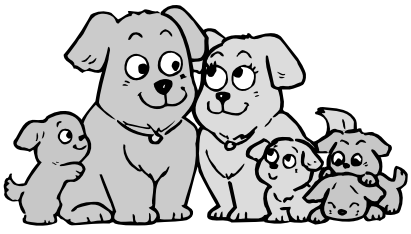
(第二次)

月・日	場所	時間
5月9日(木)	公民館鹿塩地区館	13：30～13：50
	役場庭	14：00～14：20
	大積神社	14：30～14：50

●犬の死亡届

登録されている犬が死亡した場合は、犬の死亡届の提出が必要となります。

印鑑を持参の上、役場窓口で手続きをして下さい。



ろくべん館だより　Vol.33

『ダムに沈んだ村』

「ここは、いいところですね」とその人は言った。

玄関に腰を下ろし、トレッキング・シューズを履きながら、しみじみとそう言った。

そういった褒め言葉には、いつも通り「はい、本当にいいところですよ」と返事をすることにしている。

かの客は続けて、「わたしは岐阜から来たんですけど、岐阜にもいいところはあったんです。しかし、そういうところはめっきり減ってしまいました」と言った。

かくいうわたしも、生まれは実は山の中なんですよ。八百津町というところです。中心部は多少にぎやかですが、わたしの生まれた集落はずっと山道を上ったところにあって、静かな集落です。ご存知ないと思いますが、八百津というのは杉原千畝という人の出身地なのです。そうです、第二次世界大戦中、ナチスの迫害から逃れようとするユダヤ人に、リトアニア領事館で日本の通過ビザを大量に発給したことで知られる外交官です。町にはその杉原千畝の記念館もあります。その辺り一帯が公園になっていて、わたしの育った集落へは、そこを通って行くんです。

現在、わたしは多治見に住んでいるのですが、山が好きなので時間があると出かけて行きます。そうすると麓の山村も通るのですが、こんなふうに静かな昔ながらの村というのもたまに出会うわけです。しかし何年か経って同じ村を通りかかると、様変わりしているということも珍しくありません。

岐阜県の中でも、徳山村という所は本当にいい村でした。ダムに沈むということを耳にしてから、私は何度も通いました。湛水が始まったと聞いたときにも行きました。私が行ったのは新緑の時季で、きれいな谷に水が溜まってゆくのをずっと見ていました。学校も人家ももちろん、人の気配のあった場所が水に沈んでいくばかりでなく、折からの萌え出した山々も徐々に水に沈んでゆきました。ちょうど藤の花が満開で、その垂れた房にむかってだんだんと水位があがってゆくのです。

お客さんの話をききながら、あたかも目の前に描かれているかのように絵を想い浮かべ、胸がきゅんとしめつけられるような気がした。

そのお客さんの訪問のあと、そういえば徳山村のおばあさんが、消える故郷を残そうと写真を撮って本にしていたことや、村を記録した映画があったことを思い出した。そうだ、この冬のドキュメンタリー上映会はこれにしようか、と考え始めていた。

映画「水になった村」は写真家・大西暢夫が、集団移転の決まった後誰もいないだろうと思っていた徳山村に、村が沈んでしまうまではここで暮らしたいと戻ってきた老人たちがいることを知り、彼らの暮らしを十五年にわたって記録したものである。

山菜の季節になれば毎日のように山に出かけ、それを加工し保存する。塩さえあれば家族をお腹いっぱいにできる、の言葉通り大きな樽に山菜や野菜を漬け込む。自分の畑から収穫した小豆で作ったボタモチは、あきれるほどでかい。徳山では、みな食べるために、働く。働いて、よく食べる。自分の好きなところに行って、好きなものを摘んできて食べる。

わしは糸の切れた凧のようなものでないかしら。この幸せをみんないただいていいんかなあ。ここには水の神、光の神、風の神、たくさんの神さんやご先祖さまがいて、わしらの暮らしを見守ってくれている、と感謝して手を合わせる。笑い声の絶えない山での暮らしが、映像として残されていた。

いよいよ重機がやってきて、家が壊される日、大きな音で壁がはがされ、屋根が落ちていく中でも、まだ漬物の樽の中身を移しかえ、なつかしい品物の思い出を語る。潰されていく家に向かって手を合わせ、「情けない」とポツリ、涙を浮かべた。

試験湛水が始まったというニュースをよそに、移転先の新しい家で老婆は語る。

ここは仮の住まいぐらいに思っとるんや。本当の住まいは徳山やなあ。どっか旅館に行って泊まってるような気がする。買い物は、週に二回くらいかな。夜は七時頃夕飯を食べる。それから寝るんよ。夜中に目が覚めると、またテレビをみてな。

山家におればよかったものを、こういう金のかかるところに出てくると、毎日「金」やで。それでエライのよ。その金もな、天から降ってきた金やでな、早い話が長持ちはせん。いうてみれば何にもない、ハダカや。財産ていうものはなんにもない。家だけやで。みんながそうや。一時的に金が入ったら喜ぶけれども、あとにはなんにも残らん。先祖から受けた財産を一代で食いつぶしてしもうた。山を売ってもうたら、なんにもないのや。

満々と水を湛えたダム湖が映し出され、老人たちの笑い声が響いた村は幻だったのかと思える。

大西監督は、「ダム反対と評論するのは簡単だけど、結局ダムを望んだのは僕たち都会の人間だった。僕たちの生活は、膨大なエネルギーを使いながら生活している。冬のトマトを食べること一つとっても、ものすごいエネルギーだ。この生活サイクルに歯止めをかけないと、ダムはいくらあっても足りない」と言っている。

徳山村のことを教えてくれた人の「いいところですね」という言葉が、胸に沁みた。そういえば、東北では美しい村々がいくつも失われてしまった。大鹿でもかつて、ダム建設や災害によって集団移転を余儀なくされ、複数の集落が消えてしまった。

今あるこの村が、いつまでも山に暮らす幸せを享受できる場所であることを、そして訪れる人の口に「いいところだね」と語られ続けることを願わずにいられない。

固定資産税(家屋)調査のお願い

大鹿村は、固定資産税の課税をするうえで適正な評価を確保するため、実地調査を行っております。家屋調査については次のとおりです。

1．**家屋を新・増築したときに、建主に事前連絡などを行いながら評価を行う「新・増築調査」(店舗や事務所、また車庫や物置など小規模な建物も対象となる場合があります。)**

2．**家屋課税台帳に登録されている内容(所在地番・用途・構造・床面積など)と比較し、増築や未調査の家屋、取り壊しなどがある家屋を調査する「全戸調査」**

全戸調査は、既に課税されている家屋との公平を期し、公正で適正な課税を目的として実施するものです。調査方法は、税務係の職員が調査に行き、家屋の図面と実際の家屋を照らし合わせながら外観確認します。確認のため聞き取りをする場合もありますので、調査中は、大変ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

なお、調査に伺う際に職員は『固定資産評価補助員証』を携帯しています。

◎お願い…建物の取り壊し・新築・増築をした場合又は、その予定がある場合は役場税務係(☎39－2001)までご連絡下さい。

自衛隊幹部候補生及び予備自衛官補追加募集のお知らせ

自衛隊長野地方協力本部飯田出張所では、平成25年度における幹部候補生等、自衛官の募集にともない以下のとおりお知らせいたします。

	自衛官幹部候補生	予備自衛官補(一般及び技能)
受付期間	平成25年2月1日㈮～4月26日㈮まで(締切日必着)	平成25年1月9日㈬～4月3日㈬まで(締切日必着)
採用時期	平成26年4月1日㈫	平成25年7月1日㈪
資格	20歳以上26歳未満の大卒(見込含)	一般公募 18歳以上34未満の者 技能公募 18歳以上で国家資格免許等を有する者
試験内容	学科試験(大卒程度)、身体検査、面接等	学科試験、身体検査、面接等
採用予定人数	約300名	一般公募　約1400名 技能公募　約200名
採用試験日	1次試験 平成25年5月11日㈯及び12日㈰ 以降、2次試験及び3次試験まで実施	平成25年4月12日㈮～15日㈪の内1日を指定
場所	一次試験　自衛隊松本駐屯地(松本市) 二次試験以降は別示	自衛隊松本駐屯地(松本市)

詳しくは、自衛隊長野地方協力本部飯田出張所(☎0265－22－2613)まで、ご連絡下さい。

平成26年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領

1. 平成26年歌会始のお題

「静」と定められました。

歌に詠む場合は「静」の文字が含まれていればよく、「静謐(せいひつ)」「動静(どうせい)」のような熟語にしても、また「静か」「静まる」のように訓読みしても差し支えありません。

2. 詠進歌の詠進要領

(1)詠進歌は、お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

(2)書式は、半紙(習字用の半紙)を横長に用い、右半分にお題と短歌、左半分に郵便番号、住所、電話番号、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(なるべく具体的に)を縦書きで書いてください。無職の場合は「無職」と書いてください。(以前に職業に就いたことがある場合には、なるべく元の職業を書いてください。)

なお、主婦の場合は単に「主婦」と書いても構いません。

(3)用紙は、半紙とし、記載事項はすべて毛筆で自書してください。但し、海外から詠進する場合は、用紙は随意とし毛筆でなくても差し支えありません。

(4)病気または身体障害のため毛筆にて自書することが出来ない場合は下記によることが出来ます。

①代筆(墨書)による。代筆の理由、代筆者の住所及び氏名を別紙に書いて詠進歌に添えてください。

②本人がワープロやパソコンなどを使用して印字する。この場合、これらの機器を使用した理由を別紙に書いて詠進歌に添えてください。

③視覚障害の方は、点字で詠進しても差し支えありません。

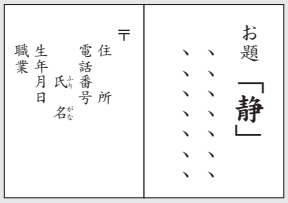
3. 注意事項

次の場合には、詠進歌は失格となります。

(1)お題を読み込んでいない場合・短歌の形式でないもの又用紙が縦長の場合

(2)一人で二首以上詠進した場合や毛筆でない場合

(3)詠進歌が既に発表された短歌と同一または著しく類似した短歌である場合



(4)詠進歌を歌会始の行われる以前に新聞、雑誌その他の出版物、年賀状等により発表した場合

(5)2(4)に記した代筆の理由書を添えた場合を除き、同筆と認められるすべての詠進歌

(6)住所、氏名、生年月日、職業を書いてないものその他この詠進要領によらない場合

4. 詠進の期間

お題発表の日から9月30日までとし、郵送の場合は、消印が9月30日までのものを有効とします。

5. 郵送のあて先

「〒100-8111　宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。詠進歌は小さく折って封入して差し支えありません。

6. 疑問がある場合

直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、9月20日までに問い合わせてください。

また、宮内庁ホームページ(http//www.kunaicho.go.jp/)を御参照下さい。

火事と救急・救助は局番なしの119番
高森消防署だより

「たき火火災ゼロ運動」を実施中です
2月1日(金)から3月31日(日)までの2か月間

飯田下伊那地域における、火災原因のトップはたき火（枝焼き、枯草焼き、土手焼きなど）です。

たき火火災の経過は、火の粉が飛んだ、その場を離れた、消し忘れなどです。

屋外での火の取扱いには注意してください。

たき火火災をなくしましょう

たき火をする時は、
次のことに注意をしてください。

- 風のない午前中に行う。
- 消火の用意、完全消火をする。
- その場を離れない。
- 建物の近く、燃えやすいものがある場所では行わない。
- 消防署に届け出をする。

「平成25年春の全国火災予防運動」を実施しました
3月1日(金)から3月7日(木)の7日間

全国統一防火標語

「消すまでは　出ない行かない　離れない」

冬から春にかけて空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季となります。飯田下伊那地域では今年1月８件の火災が発生しました。この地域から火災が発生しないよう、火災予防への関心を高めて火災の発生を未然に防ぎ、高齢者をはじめとした住民を火災から守るために、春の全国火災予防運動が実施されました。

平成24年1年間　大鹿村の火災・救急・救助件数！

期　間	火災件数	救急件数	救助件数
平成24年1年間	1　(79)	68 (6,526)	2　(99)
平成23年1年間	2 (110)	65 (6,607)	1 (118)

（　）内は飯田下伊那地域の件数

平成24年、大鹿村の火災は、建物(福祉施設)火災1件の計1件でした。焼死者は飯田下伊那地区で2名でした。

平成25年は火災0(ゼロ)を目指し、火災予防にご協力お願いします。

平成24年 飯田下伊那地域の火災の主な出火原因と件数

- たき火等による火災 ……15件
- 放火、放火の疑いによる火災 ……12件
- たばこによる火災 ……7件
- こんろからの火災 ……6件
  （天ぷら鍋のかけ忘れ等）
- ストーブからの火災 ……5件

「1月26日は文化財防火デー」でした　大切な文化財を火災から守りましょう

昭和24年１月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを契機として、文化財を火災などの災害から守るとともに、日本国民の文化財保護思想の高揚を図る目的で、毎年１月26日を文化財防火デーとなりました。

高森消防署は立入検査を実施して、火災予防の協力をお願いしました。

大鹿村の文化財

●松下家(住宅・土蔵　国)　●福徳寺(本堂・仏像　国)　●大碩神社(舞台・神像　村)
●市場神社(舞台　村)　●野々宮神社(舞台　村)　●葦原神社(舞台　村)　●松平神社(神像　村)
●下青木薬師堂(仏像群　村)　●宇佐八幡神社(神像・吉祥天　村)　●妙清庵(菩薩形立像・鰐口　村)

＊(　)の国、村は重要文化財の指定機関です。

お問い合わせ：　高森消防署　☎35-0119(FAX兼用)　　座光寺分署　☎53-0119(FAX兼用)

あんなこと こんなこと

カメラリポート

「南信州地域づくり大賞」大賞受賞 大鹿中学校歌舞伎伝承学習

７回目を迎える「南信州地域づくり大賞」において、大鹿中学校の皆さんが大賞である県知事賞をみごと受賞しました。

今回の受賞は、300年の伝統を継承し、中学生自らが学習し、公演するという主体性が評価されました。

表彰式には３年生４名が代表で参加し、今年歌舞伎学習のリーダーを務める入江茜さんと、磯部真志くんが壇上で表彰を受けました。

活動ＰＲの後には、この表彰式のために創作した「大鹿獅子の舞」を披露しました。

会場からは、大きな拍手とたくさんのおひねりが飛びました。特別審査員の峰竜太さんも大きな掛け声をかけてくださいました。

表彰式後の「みんなで盛り上げよう地域づくりin南信州」と題したトークショーでは、「伝統を守ることは村や個人の力になる。全校でやっていることが素晴らしい。大鹿歌舞伎は全国的に有名。大鹿中は一つのブランド。これからも自信を持って取り組んで」と大鹿中学校の活動について、峰竜太さんから力強い激励をいただきました。

村の行事予定

３月

15日	大鹿小学校卒業式
16日	大鹿中学校卒業式
16日	くみ取り
17日	歌舞伎教室発表会
19日	新聞紙の収集日
22日	大鹿保育所卒園式
26日	日韓若手音楽家コンサート
28日	廃プラスチックの収集日
30日	くみ取り
下旬	埋立ごみの収集
３月中	子宮がん・乳房がん検診（下伊那赤十字病院）

４月

２日	その他紙収集日
３日	保育所入所式
４日	小中学校入学式
６日	くみ取り
７日	消防団春季訓練
９日	空き缶と鉄類の収集日
11日	廃プラスチックの収集日
16日	ダンボールと牛乳パックの収集日
16日	心配ごと相談
20日	大鹿さくらまつり
20日	くみ取り
25日	廃プラスチックの収集日

訂正とお詫び

前回発行の広報おおしか二一九号において次の通り誤りがありました。ここに訂正しお詫びいたします。

十三ページ　戸籍の窓

末永くお幸せに

元吉輝道（清水）
曽根礼子（東京都）
今村勝利（文満団地）
中村千晶（飯田市）